

業問題かと言われますけど、私も零細農家の長男坊としてね、15の春から農業を学んできました。農家留学じゃありませんけど、専業農家に下宿して日曜日も土曜日も、農業を加勢しながら勉学をしてきました。まだまだ、私の域には達しませんけど、やっぱし農業は基盤ですから、堆肥、堆肥生産もする畜産は特にですね、今後とも、それに力を入れていただきたいと思います。

時間オーバーしまして申し訳ありません。これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで小川廣康君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時5分からとします。

午前10時51分休憩

午前11時04分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） おはようございます。17番、新政会の大部です。今回は、市長、ちょっと今までの形と変えて、ちあきなおみさんふうでいこうと思っているんですよ。それというのも、4つのお願いをするもんですから、頼んでおきます。

まず、第1点目です。美津島町平瀬原地区の公民館の新設について。

この質問は、21年の9月、23年の6月、24年の6月、27年の3月の定例議会で一般質問させていただき、今回で5回目の一般質問となります。

この平瀬原地区は大船越と久須保に境界がまたがっており、土地の区画はまだたくさん残っております。昨年も新築が建ち、ことしも新築が建築されています。この12月ごろまでには、もう一件の家が建築をされます。52世帯から増えつつ、160名を超えた住民が住んでおります。近くには大船越小学校、大船越中学校もあり、ここから見る朝日はすばらしく、正月の初日の出を見に来られる人もたくさんおります。そのような、景観のよい地区です。これから先も住宅は増えていくと思われま。

そのような地区ですが、この地区には、集会施設がなく、区民の総会やいろんな集会、またイベント、行事等は大船越地区の公民館等を借りて行事等を執り行っております。大船越地区の公民館までは、歩いてはなかなか遠くて行けません。お年寄りとか、車等を持たない人は、出席しようにも出席できずに困っております。

このような不便さを被っている平瀬原地区の住民が、長い期間にわたり待ち望んでいる集会施設の新設をしていただけないのかをお尋ねします。

2問目。美津島町女護島地区の防波堤のかさ上げと防風ネットの設置について。

この一般質問も25年の9月、26年の12月と、今回が3回目の一般質問です。女護島地区は美津島の三浦湾独特の沖海上から、長方形に長く、両サイドは山に囲まれ、北風、北東の風ときは風の逃げるところがなく、万関橋の方向に一斉に吹いて、もちろん波も高く、女護島湾内の船は避難をしなければ、防波堤を越えた波で船は壊れてしまいます。この防波堤のかさ上げと、防風ネットの設置ができないかをお尋ねいたします。

3問目。自然災害又は自己の責によらない理由のへい死した養殖魚介類への処理費の助成について。

昨年の9月1日は、大雨に竜巻、このときは対馬でも5隻の漁船が被害に遭い、尊い命も失われました。その後、9月18日の大雨や、50年ぶりという大雨と赤潮により、多くのマグロ養殖魚がへい死をしました。今までの対馬の水産業は、イカ釣りが一番多く、水揚げも一番多かったのですが、イカ漁の不漁等が影響し後継者もほとんど育てておりません。

そのような、水産業の不振を改善しつつあるのが、マグロ養殖業です。現在では、水揚げ高は日本一の水揚げ高まで成長をしてきています。当然、雇用も若い後継者も増えてきております。昨年の9月の出来事は、50年振りといっておりますが、そのときのへい死したマグロの処理は全てに自己負担でした。今後、自然災害でへい死した養殖魚介類への、処理費の補助金交付はできないかをお尋ねいたします。つけ加えますが、死んだマグロの魚代ではなく、処理費です。

4番目。久しぶりのトイレの大部です。

対馬市立小学校、中学校のトイレは和式です。洋式のトイレに変えていく考えはないか、お尋ねいたします。

現在の家庭は洋式トイレ、つまり便座に座ってするトイレがほとんどになってきております。そのような中で、新しく1年生に入学した子供が、和式のトイレを怖がり、泣き出す子供もいたそうです。先生がついて、トイレをさせようと努力してもだめで、仕方なく親に連絡をして学校に来ていただき、トイレを済ませた子供もいたそうです。ことしに限らず、昨年もそのようなことはあり、先生たちも困ったそうです。高学年になれば、怖がることもないでしょうが、このことは毎年、入学時には起きております。一度に全部を和式から洋式のトイレに改善するには、かなりの費用がかかります。せめて、1学校に1個の洋式トイレに早急に改善をしていくことはできないかをお尋ねいたします。よろしく申し上げます。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 大部議員の御質問にお答えいたします。

まず、1点目の平瀬原地区の公民館の新設につきましては、大部議員からこれまで4度の質問があっており、また昨年6月にも平瀬原地区より要望が上がっております。

昨年3月の定例会の一般質問におきまして、最優先に検討する前段としまして、当地区を担当する地域マネージャーと、地域の皆さんとの協働の取り組みにより、当地区における集会施設の位置づけや、活用計画等を盛り込んだ地域づくり計画を策定していただく必要性について、地区要望とあわせて回答させていただいております。

その後、平瀬原地区が地域づくり計画を平成27年6月に提出し、認定されたことを受けましたが、土地の提供予定地に係る諸条件により、土地の受け入れができない状況でありました。

しかしながら、ことしの6月に土地の受け入れが可能となったことを確認しております。前回の答弁のとおり、要件が整いましたので、今後は担当者が現地に出向き、施設規模や施設管理について地区との協議を進めてまいりたいと考えております。

あわせまして、施設整備には多額の費用がかかるため、国や県の助成事業を活用、模索しながら、当該施設の新設を最優先に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

次に、2点目の女護島地区の防波堤のかさ上げと、防風フェンスの要望についてでございますが、このことにつきましても、これまで2回、一般質問を受けております。こういう中、県振興局に対して、強く要望をしてきたところでもあります。

本年度、本漁港は施設の機能診断及び水域施設の機能保全事業として、調査・設計を実施中であります。市としましても、防風時における住民皆様の苦労は十分理解し、必要性を感じておりますので、今年度も引き続き、防波堤の改良について要望してまいる所存でございますが、振興局におきましては、県の予算等厳しい状況の中、前向きに検討をさせていただいております。

しかし、前回は答弁しましたように、女護島地区の防波堤のかさ上げと防風フェンスの設置のみでは、補助事業として採択条件に該当しないというようなこともあり、池ノ浦地区の浮き桟橋の屋根及び防波堤の延伸、かさ上げ等を含め地元の要望を取り込み、現在、平成29年度からの次期整備計画に盛り込む作業中でございますが、池ノ浦地区への陸揚げ機能の集約が条件になると聞いております。

今後におきましては、一日も早く防波堤のかさ上げ及び防風フェンスの設置ができるよう、これまでどおり強く要望していきたいと考えております。

続きまして、3点目についてお答えいたします。

本件は、平成27年12月、第4回定例会にて御質問を受けております。

昨年の被害につきましては、9月2日から竹敷、尾崎地区海面で赤潮が発生し、9月9日には有害プランクトンがクロマグロをへい死させる細胞密度となったことから、周辺養殖漁業者に対し、対馬水産業普及指導センターにより、餌止め等の注意喚起を行っていたところ、9月17日の大雨による河川等からの流入による濁りも重なり、養殖マグロに多大な被害を及ぼした

ものであります。

対馬市といたしましても、養殖漁業につきましても、今後、獲る漁業から育てる漁業ということで、新たな雇用の場の確保の観点からも、大切な漁業であると位置づけております。

前回の御質問を受け、他市の助成制度の状況など調査いたしましたが、県の新水産業収益性向上・活性化支援事業においても、同様のへい死魚などの処分費について、事業費100万円以上が対象でございますが、2分の1以内の補助制度がありますので、本事業を活用していただくとともに、漁業共済制度は少し高くて条件にも制限がございますが、こちらも利用していただければと考えております。

今後は、県事業の活用状況を見きわめながら、対象外となっております、100万円未満の処分費につきましては、前向きに検討をしてみたいと思います。

次に、4点目の小中学校におけるトイレの洋式化に関する御質問でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第7項の規定により、校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関することでは、教育委員会の職務権限となっておりますので、本市の小中学校における現状把握と、教育委員会としての考え方について、教育長から先に答弁の後、私が答弁したいと思います。どうかよろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 今般、議員より御指摘のありました、小中学校のトイレにつきましては、和式トイレがほとんどでございますが、洋式トイレの普及率は小学校で18.6%、中学校で17.2%と、非常に進んでいないのが現状であります。

しかしながら、1校を除いて全小中学校に少なくとも1カ所程度の洋式トイレ、あるいは簡易洋式トイレを設置している状況でございます。

また、特別支援学級等必要な児童生徒に対しましては、その身体状況を加味いたしまして、本年度においても入学に間に合うよう、洋式トイレの設置を進めているところでございます。

次に、就学前の状況といたしまして、小学校にまだまだ和式トイレが多いことから、特に幼稚園、保育所もそうなのでございますが、厳原幼稚園、比田勝こども園等新しい施設につきましては、練習用の和式トイレを設置し、入学時に児童が戸惑わないよう指導をしているところでもございます。

以上です。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員御質問の4点目のトイレの件でございますけれども、本市のみならず全国的な問題となっております。

昨年度、学校のトイレ研究会という民間団体が、学校において改善が必要と思われる施設、整

備についての調査を実施され、その結果において、学校現場の約6割、市区町村の7割以上がトイレの改善が必要と考えていると、回答されたという結果も出ております。

学校の常設トイレの整備促進は、教育現場の切実なニーズに応え得るものであると同時に、避難所としても利用することから、災害に対する備えという観点からも二重の効果が期待されるものであり、今後、教育委員会と教育施設整備の事業全般を見直し、協議の上、優先順位の高い事業から、財源の確保に努め段階的にトイレの洋式化も進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） 市長の答弁をお聞きしまして、まず1問目の平瀬原地区ですけど、今の市長の答弁をお聞きすると、全ての土地も解消できました、私も書類を持ってききましたけど、ということは、お聞きしている範囲では、もう、全てがある程度整ったから、やっていくという方向でいいんですね。わかりました。

これ、平瀬原区民も、本当、私が言わなくても、もう長きにわたって待ってるわけですよ。今までは、個人の家を個別で回ったりして集会開いたり、イベントをやってきてるものですから、ぜひ早期に実現できるようにお願いしておきます。ありがとうございます。

それから、2問目のこの女護島地区の防波堤、これは前回も美津島漁協の荷さばき所とかそういうトータルでやっていくというようなお話やったんですけども、やっぱここも毎回一緒なんですけど、市長も御存じのように沖から吹いてくる風が逃げるところがなく、どうしても女護島地区の住民のところに吹き上げてくるわけなんです。波しぶき、それにプラスチック類が多いからプラスチック類のごみとか、トロ箱とか、高台の家まで吹き上げてるような状態ですので、このとも、市長、できるだけ早目にしたいということですけど、これ29年度でこれは入っていくという予算になっているんですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） はい。漁港の次期長期計画が、平成29年度からとなっておりますので、平成29年度からこの事業が始まるということでございます。

ただし、先ほども答弁いたしましたように、池ノ浦地区の荷さばき所とか、そこら辺の集約化が条件となるというところでございます。

○議長（堀江 政武君） 17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） 池ノ浦っていうか、美津島漁協ですから、美津島漁協もこれも、待ち望んだるわけなんですよね、荷さばき所が今のような吹きさらしのところですからね、屋根はないし、それで困っているわけですから、美津島漁協自体も一日も早い着工を待っておりますので、ひとつよろしく願いいたします。

全てが、市長がいいいいと言うから。

今度はマグロのほうですけど、市長の答弁もありましたとおり、このマグロは、対馬の水産業は平成6年が330億ありましたよね、水揚げ高が。それから、一番落ちたときが160億ぐらだったですかね。そういう中で、今マグロに携わっている業者が対馬だけで、23社ありますね。

そういう中で、ちょっと参考的なんですけども、23社の中で、今、漁業に対する後継者育成事業資金とかいろんなやつを、補助を対策でやってるやないですか。でも、なかなか育ってないですよ、若い者が。今、若い者が一番育ってきているのは、マグロ養殖業に携わっている関係の会社だけが、若い後継者が育っているので、皮肉な話ですけど、実際それなんです。尾崎地区なんかは、やっぱり若い者がそのまんまおって、どんどん増えていってますもんね。

今の12漁協の中で、一番組合員数が多いのが豊玉漁協なんです。780名おりますけども、豊玉漁協が780名の中で、組合員数ですよ、20代が3名、30代が9人、40代で56人、50代で165人、60代が537人となっております。

2番目に組合員数が多いのが美津島漁協です。680名。豊玉が780名で約100名ぐらい豊玉が多いんですが、その中で、美津島漁協は20代が20名です。30代が41名、40代が64名、50代が142名、60代が414名。

3番目の厳原町漁協が、633名です。で、20代が10名、30代が30名、40代が47名、50代が137名、60代で410名です。

12漁協の中で、約4,500名近くの組合員がおるわけですが、50歳以上が85.3%の比率なんです。いかに若い者が育ってきてないかということなんです。

そういう中で、このマグロ養殖業は、業者だけでなく、市長、マグロを釣ってもらう船ですよ、釣り小舟っていうんですけど、釣ってもらう船が大体今の23社の中で、1社が6人と契約するやないですか。そしたら、もうそこで百三十何名の雇用ができてるわけですよ。そういう、たくさん養殖の枠を持っている人は、8隻10隻って釣り船を持っているわけなんです。そうすれば、8隻10隻をもっていくということになったら、そこだけでも雇用というのがもう150人、おおか2人で釣ってる人もおりますから、それだけの雇用ができてくるわけなんです。

ただ、去年のそういうへい死があったとき、前回のときも言わせてもらったんですけど、全部自己負担ですよ、処理費用ですね。やっぱり私も同業者として、仲間が金額的に1億数千万の被害が出た業者もおりますので、これではやっぱりいかなんということ、いろいろしてる中で、市長も御存じのとおり、平戸市が100万円で豊かな海づくりという事業ということで、100万円限度ぐらいで処理費用を持つという豊かな海づくりの補助事業ですかね、これは。そ

ういうのをつくってますよね。平戸市はですね。

だから、対馬市もそれができないのかなということで、私はお願いしているんですが、市長、そこんともう一度。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） はい。大部議員さんおっしゃられるように、この処分につきましては、対馬市のほうは安神の焼却センターのほうに、これ、なかなか持ち込めないというような観点もございまして、先ほども答弁いたしましたように、この100万円以下の分につきましては、今後これは前向きに、制度化していきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） ぜひですね、今の市長の答弁を聞いてやっぱり、マグロ養殖協議会というのが対馬にありますけども、力強く持たれると思いますよ。災害がしょっちゅう起こるわけでもないし、赤潮っていうのもほとんどなかったんですよね、今まで。この前のような大雨でマグロが死んだっていうの、魚の被害っていうのは、僕らも養殖して何十年になりますけど、初めてですよ、お聞きしたのが。やっぱりマグロの場合は、1匹単価が10万円、十何万円の売買単価でいってますので、一業者で1億数千万っていうのは大きな被害ですもんね。その中で、こういう処理費が出てくるっていうことは、皆さんありがたいと思いますので、ひとつぜひですね、よろしく早目にこれも実施できるようお願いしておきます。

それから、最後の質問の、トイレの問題ですけど、これ、教育長からも答弁もらいましたけども、結局私が言わなくてもみんな中身知ってるわけですよね。そういう困ってるっていうのが。私も、この、トイレが和式で、非常に困って泣いてたっていう、その実例の電話がありまして、私も、ふと自分を振り返ったときに、私が修学旅行に行ったときですね、もう中学3年ですよ、修学旅行やから。広島に行ったんですけど、そこの旅館がですね、まだそのころは対馬は、そりゃ、水洗トイレったら1軒もないですよ。和式見たこともなかったんですけど、修学旅行に行ったときに、先生から、水洗トイレだから、ボタン押せば水が流れるっていう、その言葉はお聞きしてたんですけど、これ笑い話ですけど、一人の男が用を足しながらさわってるんでしょう。あのころの水洗っていうのは、ガガーって下から音がしよったですもんね、今なら、ぱっと流れてきますけど。だからその音に、中3ですよ、怖がってですね、パンツもはかずに、〇〇〇〇外に出てきたわけですよ。ほんと、いや、これ笑い話やないんですよ。女の子やったら、大変ですけどね。そういうことを私もふと思い出して、小学校の女の子なんか特別にですね、教育長、やっぱりしたことがない、座ってするのが、またがってするっていうのにすごくどこも抵抗があってるらしいからですね、この件はいち早く、早急に解決していただいで、そして、住みよいというか勉学のしやすい学校、市長もさっき言われましたように何かがあれば災害時に、やっぱり、一

番学校にどこでも避難したりするやないですかね。そういう緊急対策にもなります。

ぜひ、さっき教育長言われましたが、幾つかの学校はもう洋式になってるんでしょ。ああ、幾つかですね。今の対馬市立小中学校、もう小中学校でやってるのは、佐須奈が1校ですよ。佐須奈1校で、小学校が19校、それから、中学校が12校で全部で32校になってますけど、うちの大船越も洋式っていうのは、僕は小学校のとき一回一回見てませんが、ほとんど見当たらないですもんね。各学校に1つは入ってるんですか。それひとつ聞かせてください。市長でもいいし、どちらでもいいです。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 1校を除いてほかの学校には全て、1カ所以上は入っています。はい。

○議長（堀江 政武君） 17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） はい。そしたら、やっぱり教育長が言われた1校が、一つもないっていうところは、豊玉ですか。（発言する者あり）ああ、そうですね。私のところに電話あったのが豊玉の人ですもんね。ぜひそういうふうにして、洋式を一つでも入れてください、と、子供がそういうふうで、毎年、同じようなことが繰り返されているんですよ、ということでありました。

うちの地元のPTAさんあたりに聞いても、やっぱり小さい子が和式が慣れなくて、順番待ちしたりいろいろしてるらしいんですよ、洋式を。だから、休憩時間っていうのは限られた時間です。市長、これを一日も早い改善で、小さい子が怖がってするようなトイレじゃなく、本当、快適なトイレができるように一日も早い要求をいたします。

市長、そこで答えをもらったらもういいです。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） はい。先ほど教育長の方からも、答弁がありましたように、今、対馬の中の小学校で洋式化になってないのが、1校だけだというようなことでございますので、こういったところから優先的に進めてまいりたいというふうに考えます。

○議長（堀江 政武君） 17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） はい、今、教育長と市長の力強い答弁をいただきましたので、必ず洋式になっていくものだと信じて、私の一般質問を終わらせていただきます。

本当にありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。再開は、午後1時からとします。

午前11時37分休憩